



ROTARY BRINGS HOPE

## ロータリーは 希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カパラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長 — 日戸 平太 幹事 — 上木 六治 SAA — 外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)



出席率: 会員 67名中 46名 : 先々週出席率: 94.03% (前年同期 94.44%)

今日のお花: 白菊、黄菊

ヴィジター: 村上より 八子健二君

三条南より 鈴木幸一君、野島広一郎君、田中久作君

ゲスト: 三条新聞 社長 山崎 勇 殿

先週のメイクアップ: 7/13 吉田RC 創立総会へ 藤田説量君、山本福七君、梨本清一君、野村竹三郎君

7/15 和歌山有田へ 加藤紋次郎君

7/15 新潟へ 近藤与助君

7/16 佐賀伊万里へ 加藤紋次郎君

7/17 東京南へ 堀川政雄君

7/18 燕へ 岩井和夫君

会長挨拶: 日戸会長

NHKの放送に「話の泉」というのが、TVの無い時代にありました。「リトマス試験紙は何から作るのか」という問題が出ました。それは「アジサイから作る」との答えがありました。花の赤青の色の変化を云い得て妙であります。たくみに洒落ております。

アジサイに、オタキ型、というのがあります。オタキはお滝さん — 滝であります。

江戸末期、西洋医学、オランダ医学は「長崎」を窓口に入って来たわけですが、「シーボルト」 — というドイツのドクトルがオランダ商社員として、27歳から約5年間の間滞在。その

愛人の名前が「おたきさん」なのであります。長崎型アジサイ、九州型アジサイなどと云わず「おたき型」としたところ、シーボルトさん仲タイキと云うのでしょうか。オタキさん、紫色が似合ったひとかどうか？

NHEの大河ドラマ（花神）の「オランダおいね」の実父がこのシーボルト。一旦帰国し、30年後64才の時、おタキさん、おいねさんと再会しております。

アジサイはほんとうの真の「アイ」色が集ったとの意味だそうです。この時代おタキさん、やっぱり紫が似合っていたらどうか？

#### 幹事報告： 上木幹事

- 大会登録準備についてのお願い
- 吉田ロータリークラブ 出席御礼
- ロータリー適用相場 8/1～1ドル 166円
- RIニュース 情報抄録
- IGF地区大会委嘱状

#### 委員会報告：

##### ○親睦活動委員会 斎藤(弘)委員長

納涼例会の御案内です。只今の処49名の参加予定を頂いております。30日は中央公民館前を5時30分に出発します。バスは出来るだけ良いバスで行ける様に配慮しておりますので、是非時間に遅れない様をお願いします。

##### ○地区年次大会 岩井幹事

先週行動計画表を各委員長さんにお配り申し上げましたが、今晚の会議にそれに各委員会としての予定日を記入欄に書き入れ、私の方で考えられる項目は全部記入しておきましたが、皆様各委員長さんで、その他にどうしても必要だという項目が沢山出てくると思いますので、それも表に記入してご持参下さい。予算については8月13日に予算要求をして提出して下さい。

##### ○社会奉仕委員会 佐藤(聖)委員長

再々のお願いで誠に恐縮ですが、全市一斉クリーンデーが三条クリーン協議会主催で今回で8回目になりますが、8月3日に集合場所は前回と同じ松井木材様前で6時集合です。当日実施の場合は5時30分に花火が打ち上げられますので健康の為と思って御参加下さい。

7月26日、花火大会の晩ですが、これもクリーン協議会の行事ということで、ゴミの持ち帰り運動の実施ということで各事業所の社員の方々徹底して頂く様をお願いします。

先週お願い申し上げました北三条駅前の立札について早速高橋(清)さん、松川さんより大変丁寧なお知らせがございました。「良寛落葉の句碑」と書いてあります。裏面に良寛の句「たくほどに 風かもてくる 落葉かな」の有名な句が書いてあり、近くにある日吉神社に、その句碑が立ててあるのを知らせる為のものであります。

#### ニコニコBOX ¥6,000



榎本君 昨日、新潟山ノ下埠頭で、海上自衛隊の護衛艦に乗艦し2時間余り、40余年前の苦しかった思い出を!!今となっては楽しい楽しいおもい出です。

小林(英)君 19日(土)夜、今年50歳になった教え子17人に囲まれ、楽しい夜でした。

高橋(一)君 富士登山ですばらしい御来光を仰いできました。

渡辺(宏)君 ポリオ・プラスにご協力有難うご座居ました。今後共宜敷く。

加藤君 去日、新潟VIP玉姫殿で上棟式を無事修了し、11月オープンに向けて順調に進んでいます。お知り合いの方がいましたら、是非御紹介下さい。

ポリオ・プラスの献金缶を作って参りました。席でタバコを吸われる方、今日もタバコはうまいとか、健康に関することでチャリンコを入れて頂き度い。その他ポケットに小銭がありましたら、金額は問いませんから毎回入れて頂く様、ちなみに御縁がありますように、5円を入れておきます。願いをこめて作って参りましたので宜敷く御協力をお願いします。

#### 卓話： 無題録 山崎 勇 殿

当社の社員は32人居るのですが、32人合わせて税金をどの位納めているだろうか調べて見ましたら800万円一寸弱なのです。この席に岩井先生とか色々な方がおられますが、その内のお1人の所得を32人でかかっても追いつかないので情けない様な感じがするのですが、先日たまたま市役所の高卒で就職をして3年目になる女子職員に、貴女は税金をどの位払っていますかと聞きましたら2万円弱なのです。そうしますと1,000万円の税金を払うとなると500人の方で、ようやく1,000万円になると云うことで、1人の力の大きさといえますか、金持ちの力の大きさといえますか、そういう方が居らっしゃるから世の中が出来ているわけですから、もっと沢山納めて頂き、私共のものはもっと減らして頂ければ有難いと思うわけです。

この間、同日選挙がございましたが、三条市の衆議員選挙の保守4人の方の得票を合わせますと、全体得票の75%が集まって田中さんは40%弱だと思います。自民党は我が世の春を楽しんでいるのが今ではないかと思えます。ではその逆に敗けた陣営の社会党は惨敗したと云われております。皆様は社会党の機関紙で社会新報という新聞を御存知の方は少ないのではないかと思います。その社会新報の中で社会党がどの様なことで惨敗の原因を考えておられるのかとい



うことを御紹介して見たいと思います。

第一に掲げておるのが、日常の党と有権者との結びつきが足りなかったのではないかということです。要するに前回の選挙で自民党で次点になった方が大分おられたわけで、その方々や新人の方の争いの勢いに社会党の前議員の方が、はじき飛ばされたのではないかと分析しております。

第二が同日選挙阻止と云うことで、社会党は運動が遅れたのではないか、それと労組放れということが一般的に進んで来ておる中で、社会党の体質が労組に支えられて労組の運動の中で選挙戦が位置づけられているので、労組放れが進めば自然と選挙も弱くなる。その上に中曽根さんになってから、行政改革が進められ、官公労の労組の組織力、運動力が非常に弱まって来たのが第二だと思えます。

第三点は自治体の議員数が減っておるということです。例えば東京都の場合ですが、美濃部さんの当時、社会党は13人の議員がおられました。それが今回は4人に減ったのですから、半分以上に落ちて来ている。その他に地方の議員がものすごく減って来ている。例えば三条の例を見ましても稲村さんが当選した47年～51年にかけて9人の議員がおられた。それが現在では5人に減っております。自治体の社会党を支持する議員が減って来ているのが今回の惨敗の第三の原因ではないかと分析されております。

第四に新しい時代に向う党のイメージでニュー社会党ということで石橋さんが提唱したわけですが、そういう新しいイメージというものが社会党には何も出なかった。現に今回衆議院で当選した議員の平均年齢を調べたのですが、当選者の平均年齢が56.5歳対しまして社会党議員の当選した平均年齢は58.8歳でして、2歳以上も高齢化しておるということです。と4つを柱にして云ってありました。

同じようなことで、社会党、総評というものが二人三脚で運動を進めておるわけですが、この間ありました総評の定期大会で、労働組合の組織力、行動力というのが、行革から非常に落ちてきた、例えば今回の選挙の分析の中でも云ってありますが、行革の首切りのことで国鉄はそれだけのことで恐々として選挙どころではなかったとそんな内幕の話も出ておりました。

それから中曽根さんの経済政策というものがあつたわけで、それに変わる社会党独自の路線が何も無かつた。要は簡単に云いますと、平和と民主主義を守るというだけであつて、それから先の具体的政策というものが何も国民に示されていなかった。只反対反対ということが非常に強いということが書いてありました。

前県議の大平さんが、自民党は社会党のただ反対反対ということをも有権者に植えつけ、あれだけ植えつけられると自分達の運動も非常にやりにくいと云っておられました。

政策が一つ示されますと、例えば原発の問題、安保の問題、軍事力の問題でもよいですが、その示されたもののほとんどが自民党の政策ということで、新聞とかマスコミで示されるのが多い。それが本流でその本流を覆すには、よほどのことか、又小集会で不断そういうことをやらないければ、それを覆すことの出来るだけの力が出てこないし、有権者の関心も出てこない。そう云う小集会などが全然開かれていなかった。いわば地域活動の欠除が、大本ではなか

ったか、要約しますと地方の議員が減って、日常活動が出来なくなってしまったから、益々地域との結びつきが少なくなって、だから今回の様な大敗に一步つながつた。

自民党の若手議員の中で、今回初めて立候補した方で、半年位の間で朝から晩まで1日20回位のコースで講習会を開いて、それを連日続けて見事当選をした。ではそういうことをやった社会党の候補がいたかどうかと云うことです。

先日、朝日新聞の論説をしておられた松山先生の「しっかりせよ自由主義」と云う本を見まして、いくつか面白いものがありましたので紹介してみたいと思います。

要は自民党の体制には非常に欠陥が多い。然しそれを倒すだけの力は社会党にはない。選挙の自由、言論の自由も補償されておりますが、その中で何等その力を発揮出来ないのは、政策等で魅力が無いのかと云うことをいっておりました。野球に例えて、投手がボールばかりを投げるとか、相手の内野の守備が非常におそまつなのに、それで点が入らないというのは、社会党のバッターの打撃が弱いから点が入らないのだと、そんなこともいっておりました。

松山さんはアメリカの支局にも永く勤めておられ、その当時に日本から色々な方が見えられ、例えば自民党や社会党の代議士の方とかを、案内や紹介したりするのですが、そういう議員さん方が日本へ帰ってから礼状の来るのは自民党の方ばかりで、社会党革新系の方から礼状とか物を送られて来たといったことは全く無いと書いてありました。その話の中で例をとりまして九州大学の名誉教授で高橋先生が、左翼の人間よりは右翼の人間の方が人間として信用出来る、そういう人間がより多い、いくつかの体験を通して、そのことが私の人生哲学だとおっしゃっている。



又先程の大平さんの話になりますが、あの方は永く議員をされておられたから、色々な方の相談を受けたり、面倒を見たり、就職の世話をしたり、交通事故の相談にのったり色々なことをやっておられ、よくうちの会社へもいらっしゃいます。交通事故を新聞に出さないわけには出来ないだろうが、目立たない様にとか、小さく扱ってくれとか、そう云う話で来るのですが、逆に嵐さん、滝口さんは、そういうことで見えたと云うことは先ずありません。いかに大平さんの処にはそういう人が一杯集まっているのではないかと、何かそんな感じがするわけです。

次週例会 7月30日 納涼例会 午後6時30分～ 寺泊

次々週例会 8月6日

... 第一に、... 第二に、... 第三に、...



... 第四に、... 第五に、...

... 第六に、... 第七に、...